

記者発表（資料配布）				
月／日（曜）	担当課 担当名	内線電話	発表者名 （担当係長名）	その他の発表先・配布 先
6／14（木）	水質課 水環境係	3386	課長 勝野聡一郎 （木下 勝功）	—

平成19年度環境技術実証モデル事業（閉鎖性海域における水環境改善技術分野）における実証対象技術の選定について

平成19年度環境技術実証モデル事業（閉鎖性海域における水環境改善技術分野）における実証対象技術を選定いたしましたので、お知らせいたします。

1 背景・経緯

環境技術実証モデル事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証することを目的として、環境省が実施する事業です。

南芦屋浜（人工海岸）を対象とした平成19年度環境技術実証モデル事業（閉鎖性海域における水環境改善技術分野）においては、実証機関である兵庫県が4月5日（木）から4月20日（金）まで関係企業等に対し実証対象技術の募集を行ったところ、4件の申請がありました。

2 実証対象技術の選定

申請のあった4件について、瀬戸内海再生技術検討委員会（委員長：松田治 広島大学名誉教授）において、技術の先進性や実証可能性、環境保全効果などの観点から検討を行い、この結果を踏まえて兵庫県では、下記の技術を実証対象技術として選定し、環境省によりこのたび承認されました。

環境技術開発者	株式会社 キューヤマ 【北九州市門司区港町7-8】
事業の目的	南芦屋浜(人工海岸)における貧酸素水域の改善
方法	海底耕耘機によるマイクロバブルエアレーション
実施期間	平成19年7月～20年3月(予定)

3 今後の予定

今後、詳細な実証試験計画を策定した後、実証試験を実施し、年度末までに実証試験結果報告書を取りまとめ、公表する予定です。

4 連絡先

兵庫県健康生活部環境管理局水質課水環境係（直通 078-362-3291）

係長：木下勝功（3386）

担当係長：村松和夫（3388）

実証対象技術の概要（閉鎖性海域における水環境改善技術分野）

兵庫県

<p>実証対象技術名</p> <p>環境技術開発者名</p>	<p>技術の概要（機器構成図）</p>
<p>海底耕耘機によるマイクロバブルエアレーションを利用した貧酸素海域の改善</p> <p>株式会社 キューヤマ</p>	<p>本技術は、エアー駆動で海底を自走し、耕耘・エアレーションを行う海底耕耘機で、海底を耕耘及び圧力水によるエジェクター方式のマイクロバブル発生装置による酸素供給により貧酸素海域の解消を図る。</p> 